

2025年大阪・関西万博に関する取り組みについて

2024年12月1日

認定NPO法人虹色ダイバーシティ

私たちは、SOGI（性的指向、性自認）による格差のない社会をつくり、次世代に繋ぐことをミッションに掲げ、2013年から活動を続けている大阪のNPO法人です。

私たちは、地元大阪で開催される大型の国際イベントである2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）に向けて、LGBTQ等の性的マイノリティ（以下、LGBTQ）に関する権利侵害が起きることのないよう、以下のような取り組みを行います。

LGBTQに関する人権侵害への懸念

- ・大阪・関西万博の来場者、スタッフ、出展者、出演者、サプライヤー企業等には、当然に、LGBTQの当事者やその周囲の人たちが含まれます。
- ・しかし、開催国である日本は、SOGIに関する差別禁止法や婚姻平等（同性婚）が実現しておらず、LGBTQに関する法整備が不十分な国として、国連人権理事会等から指摘を受けている状況です。2023年に成立した「性的指向及びジェンダー・アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（LGBT理解増進法）」では、行政や事業者のLGBTQ施策は努力義務でしかありません。
- ・また、大阪・関西万博の参加国の中には、それぞれの国の法制度において同性間の関係や異性装を犯罪としている国、法的には犯罪ではなくても社会的に強い抑圧のある国など、LGBTQ当事者が危険な状況にある国も含まれています。
- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会は「人権方針」を定めていますが、現時点での、すべてのステークホルダーに徹底されている状況ではありません。

虹色ダイバーシティの取り組み

- ・私たちは、地元で行われる大阪・関西万博において、LGBTQに関する人権侵害が起こりかねない状況であることを懸念しており、人権侵害の予防と救済のための取り組みが必要だと考えています。私たちは小規模の団体であり、活動できる範囲には限界があります

が、できる限りの取り組みを行い、それを記録して、次の万博等の国際イベント実施時に活かしていただくことを期待したいと思います。

【人権侵害の予防、リスク軽減】

LGBTQ 施策推進の支援や研修の実施に加え、LGBTQ の視点から万博における人権デューテリジェンスに参画することにより、人権侵害の予防、リスク軽減に繋げる。

- ・サプライヤー企業等に対する LGBTQ 施策推進の支援
- ・人権ワーキンググループへの弊団体理事の参加（2024 年 6 月～）
- ・公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会職員向け LGBTQ 研修の実施（2024 年 8 月～）
- ・公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会に向けた意見書の提出（2024 年 10 月）

【人権侵害の是正・救済へのアクセス】

実際に負の影響が生じてしまった場合の是正および救済措置の適正化を図る。

- ・万博来訪者も利用できるよう、会期中の「プライドセンター大阪」の通常開館
- ・万博準備中および会期中の LGBTQ の人権侵害に関する相談窓口のアクセシビリティに関する助言
- ・会場における LGBTQ をテーマとしたイベントの実施

【レガシー】

取り組みの結果について情報提供を適切に実施する。

- ・上記の活動を記録し、ウェブサイト等で公開する
- ・他の国際イベントへの助言・提言